

## 令和6年度 事業所自己評価結果の公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

公表：令和7年3月28日 / アンケート期間：令和7年2月17日～令和7年2月28日 / 回答者数（児童数）18名

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18		

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18		
	11	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	1	6

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	1	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	5	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	4	1
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18		
22	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか。	18			

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18		

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18		
	29	事業所の支援に満足していますか。	18		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和6年度 事業所自己評価結果の公表

事業所における自己評価結果および改善内容・改善目標

公表：令和7年3月28日 / 回答者数(職員数) 7名

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 職員の配置人数は適切である。	6	1	・突っ張り式の柱をパーテーションに変えて環境を整えられた。	・危険物を取り除いた結果、子どもの居る場所にいろいろな物を置く環境になってしまっている。収納方法や場所を検討し、使ったら戻す習慣を作りたい。 ・寝転がる子どもが多いので掃除機をかけた方が良い。 ・送迎時に非常勤の勤務時間の都合で職員が不足する時があった。人員配置の検討が必要である。 ・スペースについては全員登園だと狭い。 ・地震対策グッズを購入し棚に耐震を施す、玩具の取捨選択をし、適正な量を収納する、床の掃除を空き時間にしている。
	2 日々の活動や支援のためのスペースは利用定員に対して十分に確保されている。	6	1	・保育室、職員室を各々安全に、清潔にしようと改善策を考えている。 ・子どもの椅子を個別に対応している。 ・人員の配置が手厚くなっているため個別に関わることが出来る。 ・教室の近くに公園がいくつもあるので、子どもに合わせて選んでいる。	
	3 保育・生活空間は、本人にわかりやすく構造化しているなど子どもたちの特性に合わせた環境になっている。	7		・視覚優位の子どもにはカードや手順書でやるのが理解できるようにしている。 ・色々と周りに気がなり集中できなかつたり、1人で遊び込めない子どもには、パーテーションを使い刺激を少なくしている。また、クールダウンする場面もパーテーションが有効的である。	
	4 保育・生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもたちの活動に合わせた空間になっている。	6	1		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画できている。	5	2	・毎日の活動や職員の行動などを振り返り業務日報で共有している。 ・毎月、必要な研修を会議で行なっている。また業務をする上で不都合や改善すべきことがあったら職員間で話をして改善している。	・指定された園内研修以外に、研修や共有の時間が特になかった。会議の時間の使い方を見直し、ケース会議や個別支援計画の検討、研修の機会に充てたい。 ・療育に関する研修の場が欲しい。
	6 職員の資質の向上を行うために、研修を行なっている。	5	2		
	7 保護者向け自己評価表により保護者の意向等を、また事業所自己評価表により職員の意見等を把握する機会を設けており、それらの内容を業務改善に繋げている。	7			
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	8 適切に支援プログラムが作成、公表されている。	7		・個別支援計画の内容は、検討会議までに様々なスタッフに読んでもらい、お子さん一人ひとりに沿った目標や支援が記載できるようにした。 ・プログラムの内容に偏りが無いよう、会議の時間に出席者で決定した。	・振り返りの時間に子どもの様子は共有できるようにしたので、よりよい支援にするため、スタッフが次はどうするか考える段階まで、検討したい。そのために振り返りの時間も何を軸に話していくか、決めてから振り返りができると良い。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画が作成されている。	7			
	10 個別支援計画には児童発達支援ガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の観点から、支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されている。	7			
	11 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている。	7			
	12 活動プログラムの立案をチームで行っている。	7			
	13 活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	7			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ活動プログラムや個別支援計画に反映している。	7			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	7			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	7			
	17 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	7			
18 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、見直しを行なっている。	7				
関係機関や保護者との連携	19 地域の母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関(区役所等)と連携した支援を行っている。	5	2	・幼稚園、保育園に訪問依頼があったら、積極的に訪問した。 ・保育参観が開催できた。 ・併用している児童発達支援施設と利用開始となった子どもの支援内容や目標となる姿を共有できた。 ・就学相談の段階から保護者と困っていることや不安に思っていることなど、こまめにお話できた。	・青葉区の子育て支援に関わる事業所の交流会に参加する予定だったが、日程の調整がうまくいかず参加できなかった。個別支援計画の面談など調整を心がけたい。 ・保護者会が保護者同士の交流ができず終了してしまったことが残念だった。 ・卒園児の保護者に学校の様子を聞く会を開催してみたい。 ・保護者へのフィードバックの際、言葉遣いが否定的にならないようにしたい。
	20 保育所や幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との併行利用や移行に向けた支援を行っている。また、その際、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	7			
	21 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	7			
	22 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所等と連携し、支援に活かしている。	5	2		
	23 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、健康面や発達状況、課題について共通理解を持っている。	7			

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明等	24	7		・保護者から電話や面談での相談があった際は速やかに対応した。	・個人面談中、職員が手薄にならないようにする。
	25	7			
	26	7			
	27	7			
	28	6	1		
	29	7			
	30	9			
	31	9			

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	32	7		・不審者から声をかけられた時の訓練ができた。 ・毎日の業務日報にてその日のヒヤリを周知・共有できている。 ・避難訓練や災害時の備えなどは会議の際に話をしたり、訓練をしている。	・避難訓練の際に、どこから避難リュックを持ってきて、靴はどのように運ぶのかなど、スタッフが混乱することが多かった。職員間でも訓練や動線の確認が必要である。 ・非常時の対策マニュアルの見直し、作成をする。 ・ヒヤリハットの書き忘れを防ぐため、メモとして連絡ボードや、ホワイトボードにすぐ記入したい。 ・避難グッズの置き場所の導線を確認し、スムーズにできるように改善したい。
	33	7			
	34	6	1		
	35	6	1		
	36	7			
	37	7			
	38	6	1		
	39	7			

事業所内での分析	分析結果を踏まえた改善目標の設定
(保護者評価・事業所評価のずれ・共通点の分析) 共通点: 他の園や小学校との連携を求めている。 大きなズレはない。	掃除の仕方を見直す: 保育室内は、掃除機・ワイパーで消毒。廊下は今まで通りでやってみる。 朝のミーティングで面談・外出の予定を確認する。日誌に引き続き書いていく。 人員の配置不足について: 降園時のバタバタは外に連れていくスタッフが靴を履かせ、保護者様に引き渡すまでをきちんと行うようにする。 不審者が入ってきた時の訓練や設備を整える。